



SGN News



第36号 2019年8月
滋賀グリーン活動ネットワーク
ニュース
※6月4日より名称が変わりました。

～滋賀から「グリーン経済」をつくる～

滋賀グリーンネット20周年記念フォーラム

滋賀から“グリーン経済”をつくる私たちの取り組み

～ これまでと、これから ～

6月4日、ピアザ淡海（大津市）にて「20周年記念フォーラム」開催、227名の方にご参加いただきました。設立当初よりご指導いただいていた、前グリーン購入ネットワーク会長で日本エシカル推進協議会の中原秀樹氏と、三日月大造 滋賀県知事に記念講演をお願いしました。中原氏には「これからのグリーン購入とSDGs」と題してご講演いただき、企業や消費者に求められることをお話しいただく中、「今後の滋賀グリーンネットに期待する」と熱いエールを送っていただきました。三日月知事には「SDGs×Sustainable 滋賀～真の循環型社会を目指して～」と題してご講演いただき、プラスチックごみや食品ロスを滋賀から減らし、持続可能な社会を共につくろうと呼びかけていただきました。その後、第3回「買うエコ大賞」大賞受賞者の「せせらぎの郷」代表 堀彰男氏の受賞報告と、事務局および会員7団体の20年間の取り組み報告リレーを行い、活動の「これまでとこれから」について参加者全員でディスカッションしました。フォーラムの最後には参加者全員が自らの「想い」をメッセージシートに記し、それぞれの決意を発信し合い、参加者全員でつくりあげたフォーラムとなりました。

なお、当法人は同日の会員総会にて定款を変更し、名称を「滋賀グリーン活動ネットワーク」へと変更しました。滋賀県ではグリーン購入の理解が広まり一定の成果が得られたこと、当法人では既にグリーン購入に留まらない幅広い環境負荷低減活動を推進していること等から、今後も継続的発展を目指すために名称変更に至ったものです。

食品ロス、プラスチックごみ等、私たちのライフスタイルのあり方を問われる課題が山積み、その解決が急務とされる中、「滋賀からグリーン経済をつくる」を活動ビジョンに掲げる当法人の活動への社会的要請は、ますます高まるものと考えられます。今後も、グリーン購入をはじめとする環境負荷低減活動を会員一丸となって推進し、暮らしやすく、持続可能な地域づくりに努めてまいり所存でございます。これからも変わらぬご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



「20周年記念フォーラム」参加者記念写真

INDEX



- 滋賀グリーンネット20周年記念フォーラム 1
- 第4期役員紹介 2
 - ◎ 会長、副会長、理事、監事、幹事
- 活動レポート1 第3回「買うエコ大賞」表彰式 .. 6
- 活動レポート2 20周年記念 活動功労者表彰式 .. 6

- お知らせ 6
- 新規会員からひとこと 7
- 会員発エコ商品情報 8
- 「グリーン経済」とは? 8
- 編集後記、事務局紹介 8

一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク

第 4 期 役 員 紹 介

6月4日に開催した第7回定時会員総会にて第4期役員が決定しました。
メッセージと共にご紹介します。

～ 20周年に寄せて～

会 長

滋賀県立大学 名誉教授 秋 山 道 雄



滋賀グリーン購入ネットワークは、去る6月4日に創立20周年の総会を開催し、そこで名称を滋賀グリーン活動ネットワーク（略称：滋賀グリーンネット）に変更することが承認されました。20年にわたって親しまれてきた名称が変更となるので、当座はとまどわれたり、旧名称が思わず口をついて出る方もあるでしょう。とはいえ日頃の活動が継続されるにつれて、新名称がよどみなく口をついて出る日もそれほど遠いことではないとみています。

2015年の総会で土屋前会長から私がバトンを受け取り、4年が経過しました。20周年のうちの5分の1の時間を会員の皆さんと共有したことになります。土屋前会長から引き継ぎを受けるときに、当ネットワークは会員の皆さんの活発な議論風発に特徴があり、それが活動を持続させる原動力になっているという伝言を受け取りました。4年間で共にして、それが文字どおり当ネットワークの特徴だと実感しています。

会員の皆さんの関心が、当初の環境配慮型商品の市場を広げるという目標から広がりを見せ、それが具体的な活動へと展開されてきたことが名称変更の大きな理由となりました。現在は、地球環境に関わるエネルギー問題や生物多様性保全に関わる問題等へも取り組みが広がっています。一方で、昨今話題にされることが多いプラスチックごみのような古くて新しい問題も並存しています。問題ごとに取り組みの内容は異なりますが、「滋賀からグリーン経済をつくる」という大きな目標に向けて、これからも会員の皆さんと共に創意工夫を続けていきたいものと考えています。

副会長



公益財団法人
淡海環境保全財団
理事長

中 鹿 哲

20周年を迎え、「滋賀グリーン活動ネットワーク」として、新たな一步を踏み出す中、引き続き副会長を務めさせていただくこととなりました。これまで以上に会員の皆様の活動が、活発となり、ますます発展できるよう微力ながら貢献してまいります。

さて、昨今、プラスチック問題をはじめとして、地球規模での環境問題が大きく取り上げられています。今こそ、会員一丸となって取り組むことで、様々な課題の解決に寄与できると考えます。持続可能な社会の構築に向けて、一緒に頑張りましょう。

副会長

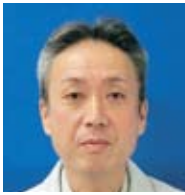


滋賀県立大学
環境科学部
教授

高 橋 卓 也

環境経営、森林政策・計画について教育・研究をしております。以前、環境経営と企業文化の関係性について調べたところ、環境経営に積極的な企業は、外向きで柔軟な企業文化を持っていることが分かりました。グリーン活動をすることは、企業の風土改善につながるかもしれません。また、日本のCSRの源流ともいわれる近江商人について勉強しております。全国に羽ばたいた近江商人にならって、売り手よし、買い手よし、未来よしの三方よしグリーン活動の歩みを滋賀から一歩一歩進めましょう。

理事



旭化成住工株式会社 本社滋賀工場
RC 管理部長

山田 忠仁

私たちは企業理念で、住宅部材の《総合生産会社》として「お客様の幸せな住まい」の実現と「人の成長、地域の発展」への貢献を掲げ、環境面では太陽光パネルやコジェネ設備導入などの低炭素活動や、生物多様性保全活動にも取り組んでいます。ゼロエミ研究会の活動を通して、社会問題となっている海洋プラスチック汚染について皆さんと一緒に考えたいと思います。



株式会社 沢田商店
代表取締役

沢田 昌宏

小さな企業でもグリーン経済を作る一翼を担うことができるのではないかと、それが大きな企業との差別化にもなるのではないかと、そう考えて20年間取り組んできました。智恵を交換しながら、企業同士が支え合う。このような滋賀グリーン活動ネットワークにできればと思います。



株式会社 平和堂
総務部 CSR 推進室 室長

鷗鷗 真知子

「食品ロス」・「プラスチックごみ」問題など企業活動と環境への取り組みは切り離して考える事はできません。そのため、環境に配慮した持続可能な活動は企業にとって重要な課題のひとつです。今後も、設立20周年を迎えた滋賀グリーン活動ネットワークの活動を通じて、会員団体・企業の皆様とともに様々な課題に取り組んでまいりたいと思います。



NPO 碧いびわ湖
代表理事

村上 悟

「じぶん一人ぐらい」の積み重ねが未来を壊し、「じぶん一人だけでも」の積み重ねが未来を守り育むと思います。生活者、事業者、行政、それぞれの立場から一歩ずつ踏み出し合って、手を携えて、子どもたちと琵琶湖の生き物たちの未来を、共に守り育んでいきましょう。



滋賀県
会計管理局 次長

小谷 充温

滋賀県庁では、これまで環境配慮物品の購入に国に先駆けて取り組むとともに、県内市町や民間事業者の皆さんと共に滋賀グリーン購入の輪を広げてきました。近年、その実現が社会的に求められている価値は、環境面だけでなく、障害者雇用・就労等の福祉面、男女共同参画等の働き方など、多様化してきています。このような新たな課題についても、皆さんと共に取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



草津市
環境経済部 部長

藤田 雅也

「購入」から「活動」へと創立20周年を機に滋賀グリーが誕生しました。脱炭素、生物多様性そして循環型社会と私たちの社会・生活はこれらのバランスの上に成り立っています。県内最大の産・学・公・民の連携体であるネットワークを生かし、自らがまず始めることにより社会を変革させるため、皆様と力を合わせて取り組んで参ります。

監事



公益財団法人 滋賀県産業支援プラザ
常務理事

清水 正博

滋賀県産業支援プラザでは、県内の中小企業の発展段階に応じた総合的かつ一体的な各種支援をワンストップで行っています。滋賀グリーン活動ネットワークの「滋賀からグリーン経済をつくる」の活動ビジョンに基づく環境負荷低減活動が、県内のより多くの企業で取組まれ、活動が大きく発展することを期待しています。



株式会社 滋賀銀行
総合企画部 広報室長兼 CSR 室長

嶋崎 良伸

SGNの活動は、まさにSDGsが目指す方向性と機を一にするものです。私たちは、これまでの活動をさらに深化させ、子どもや孫の世代まで、幸せや豊かさを実感できる安全・安心な環境を創造することが大切だと考えます。皆さんとのパートナーシップのもと、「滋賀からグリーン経済をつくる」との活動ビジョンに基づき、持続可能な社会の実現に努めていきます。引き続き、ご支援、ご協力をお願い致します。

幹 事

SGN事業の企画・運営は幹事会で行っています。会員総会、20周年記念フォーラムも幹事がスタッフとして活躍しました。



アインズ株式会社



常務取締役

谷 康夫

当社は、2017年7月にSDGs宣言をしました。持続可能な事業(消費)とモノづくり(生産)企業として、滋賀グリーン活動ネットワークの環境負荷低減活動に共感し、活動していきます。

油藤商事株式会社



代表取締役

青山 裕史

今年、創業125年を迎えます。先代の精神を引き継ぐ事、そして次世代につなげていく事は、地球環境を維持していく事と同義です。[SLOW IS BEAUTIFUL] ゆっくり、しっかりやっていきたいと思っています。

近江鉄道株式会社



総合企画部 総合企画課
課長

藤 真実

環境負荷の少ない、鉄道・バス等の公共交通機関の利用促進に努め、地域・社会の発展、環境の保全に貢献できるよう、滋賀グリーン活動ネットワークの活動に積極的に取り組みます。

大阪ガス株式会社 滋賀事業所



副支配人

中村 哲

エネルギーを中心に事業展開するDaigasグループにとって、環境保全は重要な使命です。我々は事業活動を通じてエネルギーと資源の効率的利用を実現し、持続可能な社会の発展に貢献します。

株式会社木の家専門店 谷口工務店



代表取締役

谷口 弘和

地域密着の工務店として、地域と環境と向き合い、快適に暮らせる社会に貢献できればという思いから参加させて頂きました。住まいづくりという枠を超え、共によりよい未来をつくるお手伝いできれば嬉しいです。

株式会社国華荘 おごと温泉びわ湖花街道



代表取締役社長

佐藤 祐子

琵琶湖の豊かな恵みを食・風土・温泉・空間を通して、郷土文化と心の癒しをお客様に提供しております。かけがえのない恵みを未来へ継承し続けるために、旅館業を通して地域をより良くするために取り組んで参ります。

株式会社滋賀原木



LSS事業部

西村 健之

株式会社滋賀原木は、「滋賀でいい暮らし」をキャッチフレーズに、ハードである住宅づくりを中心として、滋賀に住まわれる方々のグッドライフを様々な形で応援していきます。

新江州株式会社



本社営業部

中川 武司

段ボールは新江州のルーツ事業で、すべては紙から始まりました。SDGsが注目されている今こそ、本業の一部で社会の目標に沿えることができないか(CSV)、原点に返って行動する時だと思っています。

株式会社千成亭風土



取締役

上田 美佳

循環型畜産を目指している自社牧場で近江牛肥育から加工、小売、飲食まで、すべての過程を自社で行っております。今後もエコアクション21の取組と共に、環境に配慮した経営を推進して参ります。

株式会社ダイフク



人事総務本部 環境品質グループ
グループ長

横地 富重

「ダイフク環境ビジョン」に基づき、当社の環境経営基盤の強化を推進しています。SGNでは、「生物多様性と環境・CSR研究会」を通じ、各企業、団体等の連携で環境保全の貢献に努めています。

たねやグループ



製造部 主任

木田 幸司

海洋プラスチック問題は一体いつから? 環境問題初期の取り組みであった紙・ゴミ・電気の振出しに戻ったのか? 初心を忘れずにビジョンを持って課題解決にあたる、SGNをそんな場にしていきたいです。

日本電気硝子株式会社



環境管理部 部長代理

外間 喜春

当社は大切にしている価値観として「自然との共生」を掲げ、世界一効率の高いモノづくりこそが、世界一環境にやさしいモノづくりに繋がるもの信じ、ガラスを通して地球環境の保全と循環型社会の実現に寄与してまいります。

びわ湖パナソニックファミリー会



パナソニック㈱アプライアンス社
ビューティ・パーソナルケア事業部
彦根総務課 **文室 和美**

パナソニックは創業100周年を迎えました。「グリーンなエネルギーで安心して暮らせる社会づくり」と「持続可能な社会づくり」に貢献できるよう、SGNの活動を通じて学んで参ります。

びわ湖放送株式会社



営業局長

松本 圭司

弊社では、地域メディアとしてSDGsの推進やびわ湖の保全・活用キャンペーン等を通じて、持続可能な社会をめざしてまいります。地球環境に優しいグリーン社会の実現に向けて一層頑張ります。

株式会社山久



環境事業部 部長

森田 基仁

本年SGNは20周年を迎え、新たに名称も変わり、記念すべき年に幹事企業に就任させていただきました。SGN会員の皆様と共に持続可能な社会を目指し、微力ながら努力してまいります。

リコージャパン株式会社 滋賀支社



滋賀 MA 営業部 部長

北川 卓

リコーグループは、事業を通じてSDGsの達成に貢献するために、8つのSDGsを選定し、取組を行っております。今後も事業活動を通じて持続可能な社会づくりに貢献できるように取り組んでいきます。

公益財団法人淡海環境保全財団



キャリアアドバイザー

来田 博美

地球温暖化防止のための普及啓発活動を中心として取り組んでいます。SGNの会員の皆さんと連携させていただき、持続可能で、美しく豊かな滋賀の環境を守っていききたいと思っています。

一般社団法人ガールスカウト滋賀県連盟



山岡 歩

2020年、日本のガールスカウトは100周年を迎えます。私たちの活動の中でSDGsについても学び、社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動していきたいです。

滋賀県生活協同組合連合会



専務理事

藤田 豊

“グリーン活動”と名称も改め、グリーン購入の枠組みから発展する“グリーン経済確立”の理念に向けて、消費者の立場からの選

び知識とつかう責任を深めていきます。

滋賀県地域女性団体連合会



副会長

井上 多佳子

環境にこだわる滋賀県の社会教育関係団体として、学習・活動を重ねてきました。石けんをキッカケに、考える消費行動を地域で呼びかけあい、皆で持続可能な社会を目指したいと思っています。

滋賀県立大学廃棄物バスターズ



代表

金澤 暉

当団体では、廃棄プラスチックからプラントや雨水タンクを開発することで、環境負荷の軽減に努めてまいりました。SGNの幹事として活動の幅をより一層広げていきたいと考えております。

循環型社会創造研究所えこら



代表

藤田 アニコー

国境は関係なく、これから持続可能な社会の実現はどこでも不可欠となっています。地球人としてネットワークの仲間と一緒に調和融合しながら明るい未来を描いていきたいと思っています。グリーン活動、精一杯頑張ります！

近江八幡市



市民部 環境課
課長補佐

中野 健一

近江八幡市ではごみ減量のために5R(リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ、リジェネレート)を推進しています。グリーン購入の啓発を通じて、5Rに繋げていきたいと思っています。

大津市



環境部 環境政策課
課長

須佐美 雅幸

大津市では、ISO14001に代わる市独自の環境マネジメントシステムを運用し、環境負荷低減のための取り組みを全庁挙げて推進しているところです。今後も引き続きグリーン活動を進めてまいります。

彦根市



市民環境部 生活環境課
課長

木村 徹

彦根市では平成27年度から独自の環境マネジメントシステムを導入することで、全職員で環境負荷低減に取り組んでおります。今後も環境に配慮した事務事業を推進してまいります。

野洲市



環境経済部 環境課
課長

西村 拓巳

野洲市では、ビワマスを街中の河川まで遡上させる取り組みを通じて、市民の河川や琵琶湖の環境保全意識の向上をめざしています。会員の皆様とSGNの活動を盛り上げていきたいと思っていますので、よろしくお願い申し上げます。

滋賀県



会計管理局 管理課
主幹
兼係長

池野 則男

大量消費者である地方公共団体の一会員として、環境のみならず福祉や地域社会にも配慮した物品の購入に尽力していきます。皆様とともに「購入」から「活動」へ。SGNのネットワークをさらに強めてまいりましょう。よろしくお願いします。

活動レポート 1

第3回「買うエコ大賞」表彰式

2019年6月4日

2年に一度開催している滋賀県産エコ商品・エコサービスの表彰制度「買うエコ大賞」。商品・サービス部門では、ノミネート6商品に対して一般投票を実施し、有効投票数1,711票のうち最多得票の529票を獲得した「魚のゆりかご水田米」（せせらぎの郷）が『大賞』に選ばれました。表彰式は6月4日、20周年記念フォーラムと同日に開催しました。

【商品・サービス部門】受賞団体 ※「優秀賞」は団体名の50音順

賞の種類	商品名	受賞団体
大賞	魚のゆりかご水田米	せせらぎの郷（野洲市）
滋賀県知事賞	滋賀チエア	㈱安藤製材所（彦根市）
SGN会長賞	太陽光照明システム「スカイライトチューブ」	㈱井之商（大津市）
優秀賞	滋賀県産間伐材を使った「木製名刺ケース」	滋賀県産間伐材有効利用促進グループ（彦根市）
	自然と共に生きる体験型宿泊施設「志我の里」	志我の里（高島市）
	MURASAKI no ORGANIC（ムラサキノオーガニック）	㈱みんなの奥永源寺（東近江市）

【活動部門】受賞団体 ※団体名の50音順

賞の種類	活動テーマ	受賞団体
環境活動表彰	空き家再生による資源再利用と、商店街活性化による地方創生 ～大津町家ホテルプロジェクト～	㈱木の家専門店 谷口工務店（竜王町）
	低炭素社会づくりに向けたエコ通勤活動の推進	㈱日立建機ティエラ（甲賀市）

「買うエコ大賞」表彰式



活動レポート 2

20周年記念
活動功労者表彰式

2019年6月4日

1999年の設立時より20年間継続して活動に参加・協力された会員82者を「グリーン購入活動功労者」として表彰しました。表彰式には35者が出席されました。



お知らせ



20th Anniversary 滋賀グリーン活動ネットワーク SGN since 1999

20周年記念ホームページを公開しました。グリーン購入の歴史、会員メッセージ等を掲載しています。「20周年記念フォーラム」の記録VTRもありますので、ぜひご覧ください。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs連続講座[全5回]

これならできる! ここならできる!

SDGs



SGN研究会の連携企画。知識習得のためのセミナーと、ワーク形式の「実践・交流塾」を開催し、参加事業者のSDGsの取り組みを具体的に後押し。8月～12月まで月1回開催。※詳細はホームページから。

新規会員からひとこと

2019年2月21日から
2019年7月24日までの入会者
(団体名の50音順)



アスト滋賀 (残飯処理機取次店)

鎌田 香世子

FMおつ 古田社長様からのご紹介で入会させていただきました。先進国の中で未だに残飯を燃やし、ダイオキシンを出す日本。先の未来の為に残飯処理機を順に取り付けたいです。



株式会社 安藤製材所

コンストラクト事業部 大塚 薫

安藤製材所ができる最高の家づくり。「長く住める家」「家族が健康で過ごせる家」「木の香りのする家」を発信続け、共に持続可能な社会づくりとSDGsへの一歩としたいです。



オリックス・ファシリティーズ株式会社

事業統括部 エネルギー・サステナブル事業構築担当 山之内 禎生

建物総合メンテナンスの担い手として、省エネルギーを目指した設備機器の運転・管理・環境に配慮した清掃手法などの提供を行ってまいります。



京都紙商事株式会社

代表取締役 小泉 晃彦

長年、京都にて紙・板紙の卸売業を行っています。昨年、縁あって滋賀支店を開設しました。これからも宜しくお願いいたします。



金勝生産森林組合

組合長 理事 澤 幸司

森林の持つCO₂吸収能力を、ビジネスに特化したJ-クレジットの販売を行っております。排出側である各企業のカーボンオフセットに寄与いたします。



サークルワークス株式会社

代表取締役 松井 敬樹

信楽の多羅尾地域で宿泊施設を運営しています。高齢化や人口減少著しいこの地域で、生き物の共生や景観保全の視点から、耕作放棄地を再び田んぼに戻すプロジェクトを考案中です。



滋賀農業女子100人プロジェクト

佐々木 由珠

農業に携わる女性のみに限らず、仲間を募集しています。農業に関わりたい気持ちのある方ならどなたでも!一緒に「おいしい楽しいを分かち合う社会」をつくりましょう。



株式会社松栄サービス

代表取締役 谷本 光

弊社では施設の保全管理を通じて、安全で美しい環境づくりを目指しております。ご指導を賜りますよう、宜しくお願い致します。



株式会社ジンジ

造園環境事業部 責任者 松本 玄

『造園屋が創る新たな土壌改良材の提案』をテーマに「廃棄瓦」を原材料としたエシカルソイルの製造販売を行い、廃棄物を使った緑化活動の提案を行っていきます。



株式会社スター

代表取締役 星合 恒伸

三重県からの参加です。日頃からお世話になっている滋賀県に、グリーン購入にて少しでも貢献させて頂きたく参加させていただきました。どうぞよろしくお願いします。



精彩工房

代表 藤本 芳一

個人事業主で印刷物やウェブサイトのデザイン、制作を行っています。また、「自転車ライフプロジェクト」の名で自転車マップの制作等、自転車利用促進活動も行っています。



辻村写真事務所

代表 辻村 耕司

滋賀県内を中心に写真撮影をしています。先人達が守ってきた環境を次世代へ継承するべく、自然と暮らしが移り変わる様子を記録していくことは大切です。



フードバンク びわ湖

理事長 曾田 俊弘

滋賀県内の食品ロスの削減および支援を必要とされる方に届ける活動を行なっています。今後、県内にフードボックスを設置し、活用いただけるようにして参ります。



レイクスファーム

辻 久美子

琵琶湖のほとりで琵琶湖や環境を思い、食べる人の顔を思いうかべながら農業をしています。琵琶湖を守る活動を続けていきたいです。

現会員数：475 団体 [企業 387、行政 21、民間団体 67] (2019年7月24日現在)



会員発エコ商品情報

次号掲載
「エコ商品情報」
募集中!

太陽光照明システム 「スカイライトチューブ」

株式会社井之商

電気を一切使わない、ゼロエネルギーの太陽光照明システムです。屋根に太陽の光を採り入れる「採光ドーム」を設置し、99.7%という強力な反射率を持つ「特殊鏡面加工チューブ」で部屋の隅々まで光を届けます。熱や結露の心配もなく、紫外線も大幅にカット。一年を通して、朝から夕方まで効率よく室内へ自然光をお届けします。



通常の明かり採りの大きな問題点であった熱や結露の心配はなく、有害な紫外線も大幅にカットします。畳や家具、段ボール等の色褪せも防げます。

第3回「買うエコ大賞」滋賀グリーン活動ネットワーク会長賞を受賞した商品です。

〈お問合せ〉株式会社井之商

滋賀県大津市平津1丁目22-14
TEL: 077-537-3976 FAX: 077-533-2170
E-mail: info@skylighttube.co.jp

MURASAKI no ORGANIC (ムラサキノオーガニック)

株式会社みんなの奥永源寺

琵琶湖の源流「奥永源寺地域」の耕作放棄地を開墾。絶滅危惧種で東近江市の花「紫草(ムラサキ)」を無農薬・有機栽培で栽培し、その紫根を活用したオーガニックコスメシリーズ。「100%植物性由来」で着色料や化学添加物が一切含まれていません。基材の紫根、愛東産オーガニック菜種油「菜ばかり」、甲賀市産のオーガニックヒマワリ油、草津市産の花「あおばな」エキスなど滋賀県産の原材料にこだわった商品です。価格2,750円～4,500円(税抜)



〈お問合せ〉株式会社みんなの奥永源寺

滋賀県東近江市君ヶ畑町844
TEL: 0748-56-1194 FAX: 0748-56-1194
E-mail: info@okueigenji.co.jp

「グリーン経済」とは?

滋賀グリーン活動ネットワークの活動ビジョンは「滋賀から『グリーン経済』をつくる」。『グリーン経済』とは、商品・サービスの生産・流通・消費のあり方を地球環境に配慮した「グリーン活動」に転換することで、子や孫の世代まで幸せや豊かさを実感できる持続可能な社会をつくること、または、それらを通じて形成される社会関係のことを言います。そして、その達成イメージは、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」とも一致します。

グリーン購入から、グリーン活動へ。滋賀グリーン活動ネットワークは名称変更と共に、新たなステージへ大きな一歩を踏み出しました。「一人の歩より百人の歩」。さらなる発展を目指し、今後も会員の皆様と共に歩んでいきます。変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

20周年記念フォーラムが成功裡に終了し、ホッとするのも束の間、同じ20周年事業の「SDGs連続講座(全5回)」と「一斉行動キャンペーン」の準備に追われています。花火を上げる記念事業だけではなく、会員470団体が自ら動き、社会を変える、そんな記念事業をやろうと企画したのが「一斉行動キャンペーン」。県との協働で「グリーン購入+エシカルキャンペーン」として実施します。このキャンペーンは、グリーン購入にエシカル(倫理的)目線をプラスした「これからのグリーン購入」の理解促進、実践促進を図ろうとするもの。キャンペーンソングやポスターを作成して皆様にお届けしますので、10月～12月のキャンペーン期間中、啓発活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

また、グリーンでエシカルな消費者リーダーのための講座、「未来をつくる消費者講座(全6回)」も開講中。前向きな22名の受講生に登録いただき、2回の講座を終えたところです。クイズやワークショップを通して仲間づくりも行うので、笑い声の絶えないひと時も。一方で、熱心な受講生からは毎回多くの意見や質問が出され、その勤勉さに感動させられます。6回目が終わる頃に大きく成長しているのは、受講生よりむしろ事務局かもしれません(笑)。この前向きな皆さんと共に、講座終了後に何かやれると良いなあと思ふ今日この頃です。

(事務局長 辻 博子)

事務局紹介

事務局は滋賀県大津合同庁舎6階です。グリーン購入の取り組み方、環境配慮商品のPR方法、県内事業者のCSR活動に関するお問合せ等、随時ご対応いたします。お気軽にお立ち寄りください。



後列左より八太、福井、竹ヶ原、前列左より大塚、辻事務局長。



編集・発行／一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク

〒520-0807 滋賀県大津市松本1-2-1 大津合同庁舎6階

TEL: 077-510-3585 FAX: 077-510-3586

Eメール: sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL: https://www.shigagpn.gr.jp/

